

## 追悼文

### 宮原豊君を悼む

原田 義則(3組)

宮原豊君(9組)が2月25日に亡くなりました。宮原君は大学卒業後、日本貿易振興機構(JETRO)で大いに活躍されました。アメリカ、フィリッピン、インドなどでの海外勤務も長く、その間日本企業の海外活動支援にずっと貢献されました。また、第51回上田高校関東同窓会総会の実行委員長を務めるなど、上田高校同窓会・同期会活動の中で上原昇君(2組)と共に積極的に運営に関わると共に永らく上田高校関東同窓会の65期代表幹事としても幹事会でも活躍されて来ました。更に、青木村出身者の会である東京青木会(会長：櫻田喜貢穂君(7組))でも副会長として活動の中心的役割を果たし、特に広報のためのHPの開設とそれを利用しての情報発信で会に大きく貢献されました。近年ではJETROに在職してインドに滞在した経験から日印の交流に深く関与し続け、積極的に活動して来たことは皆様がご存知の通りです。

私と宮原君の関係は多岐に亘ります。関東同窓会での活動、同期会、「蕨の会」での小旅行などで深く交わらせて貰いましたが、特に数多くのレポートを65期HPに投稿して頂き、HPを介しての同期会員間の情報交換の活性化に積極的に貢献して下さいたことには感謝しています。「新着情報」欄で宮原君が登場する掲載件数は実に90件を超えています。宮原巍(たかし)さん(50期)のネパールでの活動、野生司香雪画伯の壁画修復プロジェクトに関わること、青木村出身者の伝記に関わることなど、2012年4月以来90件超の多くのエッセイを投稿してくれ、HPを大いに賑わせてくれました。また、数年前には『信州上田藩 宝暦一揆・異聞「清水半平と橋爪玄惟」』という極めて興味深い歴史小説を上梓して、青木村の歴史に光を当てましたが、上梓に当たりその推敲の一部を担ったのも良い思い出です。

宮原君の人生は終始、企業や個人の過去・現在の活動を支援し光を当てる活動に力を注ぐと共に、自らも輝き続ける一生だったのかと思います。しかし、まだまだやりたいことが一杯あったらうに、道半ばにて時間が足りなかったのではないかと拝察しています。残念でたまりません。衷心よりご冥福を祈ります。合掌

2026年3月3日 記